

未来をつくる青少年の、健全な夢の育つまちをつくりましよう。



○No. 266 ○昭和53年10月15日発行 ○編集発行/北海道登別市/総務部公聴広報課 ○印刷/中西印刷

退職金共済制度をご存じですか

一、中小企業退職金共済制度
この制度は、退職金制度をもつことが困難な中小企業に、国の援助で大企業と同じような退職金を支払うことができるようにすることを目的としています。

○加入できる企業（共済契約者）
常用従業員が一人以上三百人以下の中小企業で、資本金には関係ありません。

○加入できる従業員（被共済者）
期間を定めて雇われている人、あるいは労働時間の特に短い人等を除く全従業員が加入できます。

○加入の手続き（事業主へ）
銀行の窓口で備えてある申込用紙に、申込金（掛金一カ月分）をそえて、取扱い銀行へ提出していただきます。（契約が成立すると事業主から個人ごとにつくられた

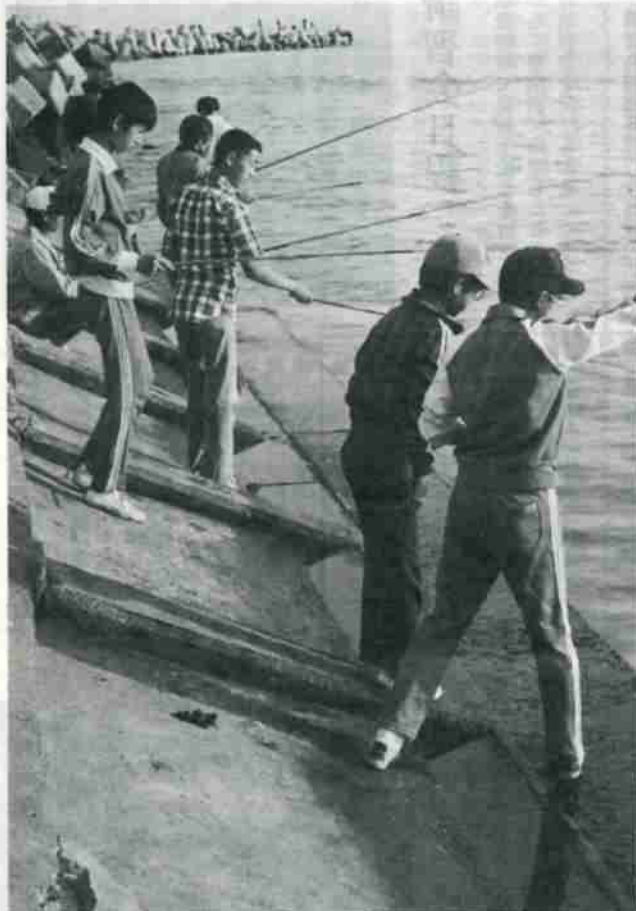
「退職金共済手帳」が事業主に届けられます。

○加入後の掛金
毎日の掛金は、八百円から一万円までの十九種類であり全額事業主負担です。

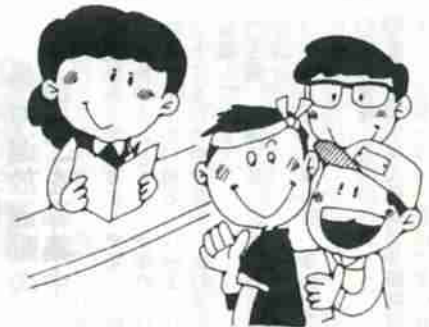
退職金額例
掛金が月額八百円の場合、二十一年で四十七万円
掛金が月額一万円の場合、二十一年で五百三十三万七千円

二、建設業退職金共済制度
この制度は、今まで退職金をもらえなかった建設現場で働く人たちのために、中小企業退職金共済法によって設けられた制度です。

加入できる事業主
常時雇用する従業員の数が、三百人以下の建設業中小企業者となっていますが、大手企業と中小企



幌別川河口付近はチ力釣りの小・中学生でにぎわっていますが、事故にはじゅうぶんに注意してほしいものです。



業間を往復している人のため、特別に事業を行なっていますので、実際には建設業の全ての事業主が加入できます。

○加入できる従業員の範囲
建設現場（土木、建築）で働く出稼労働者をはじめ、全ての人が加入できます。

○加入申込みのしかた

登別建設協会に備えてある共済契約申込書に、必要事項を書き込んで提出してください。

共済組合が承諾すると、事業主（共済契約者）に共済契約者証と共済手帳が交付されます。

○掛金の納め方
事業主は最寄りの金融機関に共済契約者証を提出して、共済証紙を買い（一日券百二十四円）、備いた日数に応じて、作業員の共済手帳にはりつけ消印すると、掛金を納めたこととなります。

退職金額例
最初から日額百二十円ではじめた人の場合で、一カ月を二十一日として計算した退職金
二十年（二四〇カ月）で百二十八万三千元

くわしいことは、胆振支庁商工労働課または、市役所労働課（電話⑤2111内線275）にお問い合わせください。

幌別川を楽しい釣り公園に

ニジマス放流

市では、幌別川を楽しい釣り公園にするため、例年ニジマス等の放流を行なっています。

今年も、ニジマス六万尾、スチールヘッド三万尾の稚魚を放流する予定です。

放流したばかりの魚は、餌の喰いつきがよいため、たくさん釣りが集まっていますが、この時期に釣ってしまうと、春先には魚がいなくなってしまうので、来年四月には解禁になりますので、魚が大きくなるのを待ち、釣りをするように、心がけてください。

増える隣りの家の問題

ゆずりあいの生活を

なお、幌別ダム周辺は工事中です。出入りしないようにご協力をお願いします。

ピアノ、ステレオ、便所の臭気筒のにおい、ストーブ煙筒のすす、犬やわどりの鳴き声等これらは最近、市に寄せられた苦情です。

このような問題は、公害関係法令などでは規制できず、しかもお互いの感情がはいるため、なかなか解決しません。

あなたの聞いている犬やニワトリなどの鳴き声を、うるさいと思っている人がいるかもしれませぬ。

とくに、隣り近所の人の気持を考え、迷惑をかけないように十分気をつけましょう。

（市民部公害防災課）

戦傷病者に国鉄特急券の無料化を

戦傷病者の方々には、毎年乗車券引換証の交付申請の手続きをしても、傷病の程度により枚数、種類を変えて交付していただきますが、今回からは、乗車券引換証に加えて、特急券・急行券引換証も同時に交付することにいたしましたので、お知らせいたします。乗車券引換証の交付を受けている方は、未使用の引換証に見合分だけ交付します。なお、戦傷病者の方で、戦傷病者乗車券引換証の交付申請手続きを取られていない方は、早急に手続きをしてください。

申請書は、必ず運転免許証、講習案内書、筆記用具を持参してください。この講習会は、安全運転に必要な知識、交通法令の改正点など、優秀なドライバーとして必要な知識を理解していただくため、更新者全員が受けられるよう、道路交通法で義務づけられています。更新者は、更新一カ月以内に室

免許証の更新時講習会日程

昭和五十三年度下半期の自動車運転免許証の更新時講習会の日程がまきました。受講者は、必ず運転免許証、講習案内書、筆記用具を持参してください。

講習会開催日

昭和53年11月17日・30日、12月11日、22日

昭和54年1月12日・31日、2月15日・28日、3月9日・23日。

※各日ともに時間は18時から20時まで(時間厳守です)

場所 中央公民館2階ホール (交通安全係)

潜在看護婦のための講習会案内

道内の看護婦不足を解消することを目的に、有資格の看護婦、准看護婦で就業していない方などを対象として、再教育と再稼働の機会を与えるための潜在看護婦講習会を開催します。

○開催期日 11月27日から12月2日までの六日間

○開催場所 北海道看護研修会館 札幌市白石区本通り16丁目北18

○開催時間 9時から17時まで

○受講資格 1、現在就業していない看護婦、准看護婦であること

技能検定ののご案内

昭和53年度後期の技能検定が次表のとおり実施されます。

受検資格、受検手続等については、担当地方技能訓練協会(電話29131)または、担振支庁商工労働課(電話29131)にお問い合わせください。検定種目は、配管、塗装など三十種目あります。

受検申請書の付受	昭和53年10月20日まで
実技試験	問題の公表 昭和53年11月15日
	実施 昭和53年11月30日か昭和54年2月28日まで
学科試験	実施 昭和54年2月11日昭和54年2月18日
	実施 昭和54年2月22日昭和54年2月25日
合格発表	昭和54年3月27日

合同行政相談所を開設します

行政管理局では、きたる10月15日から21日までを「行政相談週間」と定め、各種の行事を実施します。

登別市では、次の通り、行政相談委員主催の合同行政相談所を開設します。

○申し込み先 社団法人北海道看護婦会(〒01札幌市白石区本通り16丁目北18北海道看護研修会館内)電話011-67333

○提出書類 受講地(登別市内の方であれば、札幌地区)を明記した履歴書一部を添えること。

○参加予定機関 開発建設部 郵便局、国鉄、電報電話局、警察署、土木現業所、行政監察局、登別市

それぞれの特長を生かせ火の用心

全道秋の火災予防運動実施中 10/15/10/31

例年、秋は火災の多発シーズンです。市内の本年七月末日現在の出火件数は九件で、昨年同期にくらべ三件の増加となっています。

これからは、寒さが増すにつれてストーブなど暖房器具を使うようになり、火災発生の危険な時期になります。次のことに注意し、火災の予防につとめましょう。

●煙突は針金で固定し、燃えやすい壁、天井などを貫通する場合は、目鏡石または遮熱材料で有効におおふこと。

●暖房器具の取付け後は、異常燃焼の有無および壁、天井などで、過度に加熱する部分がないか確認すること。

●ストーブの近くには、洗濯物などの燃えるものを置かないこと。

●寝たばこは絶対にしないようにまたさせないようにすること。

●外出前、寝る前には火の元の点検を行い、暖房器具の消火をする(消防本部予防係)

暴力追放運動の「標語」を募集

最近ふえてくる暴力や寛せいの刑を追放するとともに、少年の非行防止をすすめる、明るく住みよい社会とするための標語を、次の通り募集しています。

○主催 北海道暴力追放運動推進協議会

○後援 道・道警本部・道教育委員会

○応募資格 道内居住者

○応募方法 一人何点でも結構ですが、官製ハガキ一枚につき一点

とします。本人の作品で未発表のものに限ります。なお、著作権は主催者に属します。

●応募者はハガキに住所、氏名(ふりがな)、年齢、職業(児童・生徒、学生の場合は学校名、学年)郵便番号、電話番号を明記してください。

●賞 最優秀一点賞金二万円、優秀二点賞金各一万円・佳作十一点記念品。

●発表 入賞発表は、年末・年始の暴力追放運動強調月間中の主要新聞紙上で行ない、入賞者には直接本人に通知します。

●募集期間 昭和53年10月1日から11月30日まで(当日消印有効)

●送り先 〒00札幌市中央区北一条西五丁目(日赤会館)北海道暴力追放運動推進協議会(電話011-261-9635)

自衛官を募集

※申し込み先 室蘭市東町二丁目二十一の十二 石井ビル二階 「自衛隊札幌地方連絡部室間募集事務所」電話011-4399533 くわしくは、市役所市民課市民係(電話011-1内線237)にお問い合わせください。

市長動静

9月8日/9月23日

▽9月8日 第一回登別港まつり開会式に出席。港まつり開催を祝う。午後第四回市民まつりパレードに参加。▽10日 美園町旭丘町会設立十周年式典に出席。▽11日 室蘭周方関係行政機関へのあいさつ。▽12日 登別温泉調理師登包会から、地域まつり基金を社会福祉基金として寄贈を受ける。引き続き、定例記者会見を行なう。▽13日 懸案事項について担当職員と協議する。▽14日 市役所見学を訪れた札幌小学校児童と懇談。終了後敬老会を行なっている義勇老人ホームを訪問を訪問入園者を訪す。▽15日 各地区の敬老会に出席。▽16日 富洲町内会創立二十周年式典に出席。▽17日 登別中学校で開かれた登別市PTA連合会研究大会に出席。各地区敬老会会場を訪問。▽18日 あいつく来客と面談。幹部職員と諸問題について検討。▽19日 全道大会出場を決めた家庭婦人パレード愛球チーム代表と面会激励する。午後登別温泉で開かれた北海道既在温泉観光地再開発現地懇談会に出席。▽20日 定例市議会に係る問題で関係職員と協議する。▽21日 第13回あちんオリンピックに出席。午後、幌別銀座通りで秋の交通安全運動街頭啓発に参加。▽22日 曙町内会敬老会に出席。▽23日 市宮内閣上競技場で行われた登別市民総合スポーツ祭の総合開会式に出席。午後登別温泉で行われた室蘭児童相談所主催「里親活動のつどい」に出席。日常の労苦をねぎらう。

会内ぐり 町めぐり 運営に悩み多いジャンボ町内会

富士町新和会

新和会が発足したのは、市内の町内会の中では最も古く、昭和十八年に建設された日鉄室蘭製鉄所の来馬社宅(富士町一、四五〇戸を、東西南北の四つの自治会組織として結成させた時からです。

昭和三十一年に、四つの組織を一つに合併、その後昭和四十七年から四十七年にかけて、新日鉄が社宅の分譲を行なって個人所有になるまでは、会社の厚生課分室が中心となって新和会が運営されていたため、東西南北対抗の運動会、お祭りの実施など、いろいろな面で会社側のバックアップがあったため、運営しやすかったようです。ところが、

昭和三十一年に、四つの組織を一つに合併、その後昭和四十七年から四十七年にかけて、新日鉄が社宅の分譲を行なって個人所有になるまでは、会社の厚生課分室が中心となって新和会が運営されていたため、東西南北対抗の運動会、お祭りの実施など、いろいろな面で会社側のバックアップがあったため、運営しやすかったようです。ところが、



楽しい親子歩き運動

また、共働きの家庭が約四十割も占めているため、回覧などの配布が遅い、運営は役員にまかせっぱなしの風潮があって、町内会運営の悩みは多いようです。しかし、事業内容を見ると、防犯パトロール年五回、月一回の会議、備品の貸出し、ゴミ袋の配布、ラジオ体操、親子歩き運動など、種類も多く、活発な町内会活動が行われていることなどです。

世帯数七五七、人口二九八六九人、会長長田久雄さん。

郵便局からのお願い

郵便のあて名はくわしく正確に 昭和四十九年四月から、登別市の町名、番地が改正されていますが、いまだに旧住所で郵便が差し出されるので、郵便局では区わけ

のとき混乱しています。

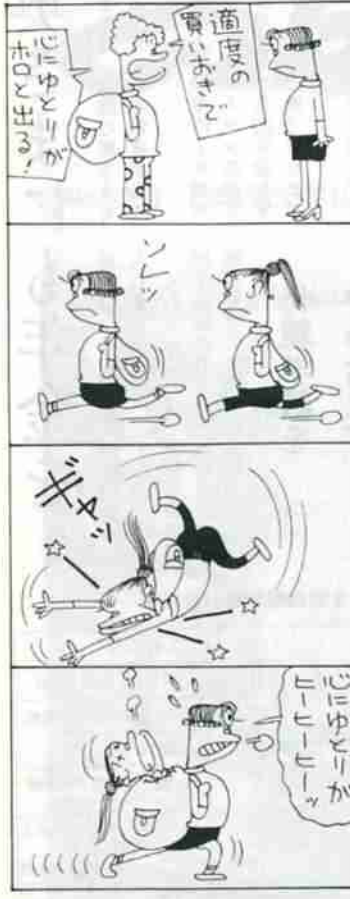
郵便を出すときは、正しい町名番地までハッキリ書いてください。

知人や友人、取引先などに正しい町名、番地をお知らせください。

●団地あては棟番号、室番号を 団地あては、室番号の記入がないと配達が困難となり、差出人に返すこともあります。

アパート・マンションあては、「〇〇荘〇〇号室」までお書きください。

節約セツちゃん



危険な線路横断、線路わきの通行はやめましょう

交通安全指導の 公開研究会

五十二、五十三年度の道教委の交通安全教育実践指定校となつて、幌別東小学校で、九月二十一日の二日間、胆振管内交通安全指導公開研究会が開かれました。

公開授業では、学年ごとにテーマを決め、車の性質からわかる事故の起こるわけを学習、訓練学習では車が曲がる際、歩行者が車道に接近しすぎると、後輪に巻き込まれる危険性のあることを風船を使って説明、参観者の関心をあつめていました。



●表札と受け箱はあなたの家のしるしです。

表札を出していないかったり、郵便受箱に名前がないと、郵便の配達先が判らず、遅配、誤配の恐れがあります。

正しく早い配達のためにもご協力をお願いします。

●転居届を忘れずに 市町村役場 住居変更のときは、市町村役場

のほか、近くの郵便局にも「転居届」を忘れなく出してください。

●昭和五十四年用お年玉つき年賀はがきの発売日は、十一月六日です。

お求めの方は、早めに購入してください。大口購入者の販売は予約も受け付けていますので、お近くの郵便局にお申し出ください。(登別郵便局)

元プロ選手招き 野球教室

元プロ野球選手を招いての少年野球教室が九月二十三日、幌別中グラウンドで開かれ、約二百八十人の豆選手たちが基本技術のレベルアップに真剣に取り組んでいました。この野球教室は、登別市民総合スポーツ祭の目玉事業として、実行委員会とスポーツ新聞社が共催して開かれたもので、講師に元阪神タイガースの山内一弘さんら三人を招いて、打撃、バッテリ守備の指導を受けました。



文化短信

長唄三味線の無料講習会

文化協会長唄部では、次のとおり三味線の無料講習会を開催しますので、お誘いあわせのうえ、お気軽にご参加ください。

日時 10月23日(月) 午後一時から五時まで

場所 登別公民館、和室 定員 二十名

申込み先 登別支所(電話⑥6111)

※なお、三味線は文化協会長唄部で用意しています。

市民文化祭の参加者を募集中

登別市民文化祭実行委員会では「文化の日」の十一月三日を中心に、市内の幅広い文化活動の成果を、展示、ステージ部門にかけて発表します。

市民文化祭は、今年十四回目を迎え、市民の交流を深め、文化活動の向上をはかることをねらいとしていきますので、皆様の参加と作品の申し込みを募集しています。

作品の申し込み及び展示、会場等の問い合わせ先電話番号

●登別公民館 ⑥6111

●登別公民館 ③1131

●登別温泉公 ④2068

●社会教育課 ⑤2111

(内線352)

奥さまにも年金を

国民年金には、家庭の奥さまも加入できる任意加入の制度があります。

この任意加入の制度により加入できる方は、サラリーマンの奥さま、昼間部の学生や公的年金を受けられる人と、その奥さまなどです。

奥さまが、国民年金に加入することによって将来、ご主人は職場の年金制度から、奥さまは国民年金からと、夫婦そろって老齢年金が受けられることとなります。

また、不慮の事故にあわれた時は、障害年金や母子年金などの給付も受けられます。

加入手続きは、市役所国民年金係、各支所で行なっており、奥さまの場合は、加入の手続きをした時から被保険者(加入者)となりますので、早い時期に手続きをすれば、将来それだけ多くの年金が受けられることとなります。

いざという時のために、そして



奥さんへ
国民年金は加入
できます

老後のために、ぜひ国民年金に加入しましょう。

くわしいことは、保険年金課国民年金係各支所、または社会保険事務所でたずねてください。

母親学級を

ひらきます

今年度の第三回母親学級を別表のとおりひらきます。

母親となられる方のために、妊娠の生理、分娩の経過、妊娠中の栄養、新生児の発育、産後の生活と赤ちゃんのおふろの入れ方など内容を五回にわけて、講話、実習を兼ね、妊娠にもなる不安の解消、出産にむけての心身、物品の準備のお手伝いをします。

受講希望者は、早めに申し込みください。

申し込みは、五十名になり次第締め切ります。

なお、受講対象者は五日間(コース)受講できる妊婦の方です。

昭和53年度 第3回母親学級の日程表

区分	1	2	3	4	5
月日	11月1日	11月10日	11月15日	11月17日	11月22日
会場	市役所6号会議室	市役所6号会議室	中央公民館	中央公民館	中央公民館
時間	13:00	13:00	13:00	13:00	13:00
担当	産婦人科 廣田先生	科 廣田先生	小児科 廣田先生	保健婦	佐藤助産婦
内容	妊娠中の生理と分娩経過	妊娠中の胎動の観察	新生児の発育と育児	妊娠体操	赤ちゃんの入れ方と産後の生活と家族計画
その他	妊娠中の保健(映画)	胎動中の栄養と食事のとり方	胎動中の育児		

「幼児を育てる親の集い」をひらきます

市教育委員会では、幼児期のお子さんを育てていくうえで、重要なことと、相談したいことを幼児教育担当の専門の先生から、直接指導いただくため「幼児を育てる親の集い」をひらきます。

当日は、証児の用意をしてありますので、遠慮なく参加ください。

日時 10月24日(火)
12時30分から16時まで
会場 労働福祉センター

「幼児を育てる親の集い」をひらきます

市役所保健衛生課健康指導係(電話⑤2111内線279)

申し込みは、五十名になり次第締め切ります。

なお、受講対象者は五日間(コース)受講できる妊婦の方です。

●申込先 市役所保健衛生課健康指導係(電話⑤2111内線279)

11月の股関節脱臼検査

●対象児：生後3カ月以上6カ月未満の乳児

●実施月日：11月6日

●実施場所：中央公民館

●受付時間：午前の部：10時30分から11時まで、午後の部：1時から2時まで

●定員：午前25名・午後25名

●受診料金：六百七十円

●用意するもの：母子健康手帳、換えオムツ

●申込先：市保健衛生課(電話⑤2111内線279)

※なお、定員になり次第締め切ります。

予防接種

●接種上の注意

●母子健康手帳を持参すること

●接種前日は入浴させ、当日は清潔な肌着を着せること

予防接種日程表

場所	時間	予 防 接 種 名		
		三種混合生ワクチン	インフルエンザ	ポリオ
ひまわり園	1:00~1:30	11月29日 12月20日	10月18日	11月29日 12月20日
鷺別公民館	1:45~2:15	11月29日 12月20日	10月18日	11月29日 12月20日
高浜児童館	1:00~1:30	11月7日 12月19日		
登別公民館	1:00~1:30	11月29日 12月20日	10月18日	11月29日 12月20日
登別温泉公民館	2:00~2:30	11月7日 12月19日		
中央公民館	1:00~1:30	12月7日 12月14日		12月7日 12月14日
商工会館	1:00~1:30	11月9日 11月16日	10月19日 10月26日	11月9日 11月16日

11月の健康相談

●実施日・場所

11月6日：登別公民館、11月13日：鷺別公民館、11月20日：中央公民館

●受付時間

午前の部：10時~10時30分
午後の部：13時~13時30分

●内容

午前：成人病相談、妊婦相談、家族計画相談、幼児相談(一歳以上)

午後：赤ちゃん相談(6カ月、9カ月児)、その他相談のある乳児(一歳未満)

●用意するもの

母子健康手帳、バスタオル、換えオムツ

※午後の部の終了時間は、三時頃になる予定です。

※貴重品等は、会場に持ってきてください。

ご寄贈ありがとうございます

養護老人ホーム恵寿園へ
案内看板の寄贈(第一工芸社様、須田塗装工業所様)

訂正

本紙十月一日号でお知らせした九月一日現在の選挙人名簿登録者数調べの「第14投票区(富浜児童館、第15投票区(富浜小学校)は誤りで、「第14投票区(富浜児童館、第15投票区(富浜児童館)となりますので、お詫びして訂正します。

(選挙管理委員会)